

2008年初夏号

# 朗読 ニュース



NPO 日本朗読文化協会

# 朗読の日

第六回



NPO日本朗読文化協会  
代表理事  
西川内直子



聴くたのしみ  
声に出すよろこび  
朗読の世界へ

2008年  
6月20日(金) → 6月22日(日)

会場  
博品館劇場  
料金 ¥3,000  
(全席自由) ◆開場は、各公演の30分前となります。



協力  
住友信託銀行  
八重洲ブックセンター  
博品館劇場

主催  
NPO日本朗読文化協会  
Tel. 03-3479-4244 Fax 03-3401-2782  
E-mail: npo.reado@roboku.org  
http://www.reado.org  
博品館劇場  
Tel. 03-3671-1003  
http://www.hokurinkan.co.jp

チケット  
博品館劇場 TEL: 03-3671-1003  
チケット代: 0570-02-9999  
0570-02-9999  
(コール: 286-546)



主催 NPO日本朗読文化協会

第6回「朗読の火」6月20日(金)~22日(日)  
銀座博品館劇場・料金¥3,000

6月20日(金) 17:30  
6月21日(土) 11:00/16:00  
6月22日(日) 11:00/16:00

NPO日本朗読文化協会は6月19日を「朗読の日」と定め、今年で満6年になります。朗読会やコンクール、朗読教室、講師派遣、朗読ボランティアなど、さまざまな活動を行っております。美しい日本語が織りなす物語や、詩の世界をどうぞお楽しみください。

## ご出演の皆さんと作品

### 6月20日(金) 夜の部Aステージ

原郁子「愛の繭」/飯森都「空中ブランコのりのキキ」/寺田道雄「高瀬舟」/海老澤良子「明烏」/坂本有子「黒魔術」/松島邦「岬にいた少女」/松本由美子「しゃるぼん」/  
福田雅世「帰途」「君死にたもうことなかれ」/  
秋山雅子、阿部義高、市原タツ子、菊地宏、寺田道雄、永井喜代子、早川とし子、茂木英治  
「60歳のラブレター」/  
佐々木富紀「地面の底がぬけたんです」/  
有賀康子「夢の中に君がいる」/

秋山雅子、行田夏枝、相良恵美、山村都「源氏物語」

### 6月21日(土) 昼の部Bステージ

本間恵子「長崎ぶらぶら節」/志満本けい「愛」/山村都「海苔巻の端っこ」/稲本由美子「近世姑気質」/田辺紀子「朝」「朝のリレー」/茂木英治「気候変動の文明史」/  
オリオン 阿部侏奈、阿部義高、いま匣子、村井佑子「ゆうれい貸屋」/  
小金洋子「嫁と姑と」「半額のコース」/余語久子「捨児」/  
安倍眞壽美、臼田敦子、松本由美子、宮下郁子「源氏物語」

### 6月21日(土) 夜の部Cステージ

岩瀬弥永子「母べえ」/菊地宏「ありがとう名人が人を元気にする」/福本富美「にごりえ」「十三夜」/  
小林道子「ネルソンさんあなたは人を殺しましたか?」/渡部玲子「雪解け」/望月鏡子「火垂るの墓」/  
池田美智恵「おこんじょうるり」/小川弘子 雨月物語より「吉備津の釜」/  
声のことばの勉強会 児玉朗、スチュアート・アトキン、青谷優子、かりん  
「世界から読む パイリンガル 源氏物語」

### 6月22日(日) 昼の部Dステージ

田中邦子「水仙」/臼田敦子「ナゲキバト」/  
VoiceK 水野樹里、栗谷佳代子、草野元紀、菅野洋一郎「イソップ童話より」/飯島晶子「あしたのねこ」/  
西田久美子「原文で読む源氏物語」/宮崎弥生、田原順子「琵琶と語る源氏物語」/  
行田夏枝「ソメコとオニ」/草野元紀「ホームレス中学生」/石野恵子「二つの岬」/近藤とうこ「養谷」/  
河崎早春「パパ、ドントクライ」

### 6月22日(日) 夜の部Eステージ

安倍眞壽美「祭の晩」/深澤真理子「それから」/照井恒衛「白夜」/宮内佳代子「わたしのおいわいのとき」/市原タツ子「吾亦紅」/コンクール優勝者 河崎卓也「羅生門」/早川とし子「いつでも会える」/  
山本暁子「山椒魚」/近藤とうこ、田辺紀子、土岐志のぶ、望月鏡子「源氏物語」

## 第2回朗読コンクール

2月22、23日の2日間、高輪区民センター区民ホールにて、第2回朗読コンクールが行われました。

### 第2回朗読コンクール

昨年を上回る71名もの応募があり、男性の参加者も増加して熱の籠もった朗読が繰り広げられました。

特別参加の港区立青山中学校、広尾学園高等学校の生徒達の舞台も大きな拍手で迎えられました。

毎年、質量ともレベルアップしていく朗読コンクールは、朗読協会の新たな主要事業として大きく成長しています。



優勝

河崎卓也さん  
第6回「朗読の日」  
Eステージ  
出場決定



## 「池部良のエッセイを読む会」

4月12日(土) アイビーホール青学会館

「池部良のエッセイを読む会」は、本当にたのしかったと出席者の皆さんが喜んで下さったと聞き、大変嬉しく思っています。

池部さんのお蔭だと感謝しております。朗読の合間に問いかけた質問にも、ころよくお返事下さって、それがユーモアとウィットに富み、なごやかな雰囲気となりました。

「年齢不詳と自分らしさ」と云うエッセイにある通り、今ある自分がすべてと云った(全く気負いのない、自主性ある自然体)で日々送られている御様子がお話から良くわかり、学ぶ所が多くありました。

90才の池部さんの若さは勿論、そのお人柄に魅力を感じた方は多かったようです。エッセイストとしての池部さんの洞察力は、少年時代から現在までの生活体験の幅の広さにあるのだと思います。



今回一番大変だったのは、色々な視点から見た数多くのエッセイからどう選べばよいか途方に暮れた事です。

「読み手と聞き手が一緒になって楽しめる朗読会を」と云う想いからの第一歩でした。朗読者も出席者の皆さんと其々のテーブルにちらばってお茶を飲みながらお話出来たのも一つの試みでした。

多くのことを学ばせて頂きました。皆さんの御協力に感謝致します。

(有賀康子 研究専科一同)



## 落語研究の授業見学会～5月20日(火)東京都立浅草高等学校にて～

約一時間半の授業でしたが、生徒達の小唄や京楽師匠の熱のこもった落語を楽しんできました。生徒達はみな明るく、中には高校生と思えないほど上手な生徒もいて驚きました。

またその間、京楽師匠の笑顔や絶やさぬ温かみのある授業に生徒達が緊張することもなく楽しんでいる姿が大変印象に残りました。秋の落語ワークショップにも是非ご参加下さい(宮内佳代子)

## 壤 晴彦短期集中ワークショップ『言葉に命を与へる』

大好評の“言葉に生命を与へる”教材の如く、一語一語の持つ意味、表現、深みをじっくり情熱を持って御指導下さいました第二回ワークショップも、無事に終了致しました。

受講生は各々が朗読グループを持ったり、他方面で活躍している方達で、遠く仙台や栃木からも参加されました。皆さまから、参加することで、また厳しく御指導下さることで自分自身思いがけない発見となり、喜びとなり、朗読の今後の読みに大変参考になりましたとの感想を頂きました。

壤先生からは、第一回、第二回の長時間にわたるワークショップへの御熱意に加えて、多額のご寄附を協会に賜りました。感謝の念を込めて協会より感謝状をお渡ししました。城所理事長より御手渡しの時、照れていらっしゃる壤先生も大変嬉しそうでした。私達も本当に嬉しく大きな拍手で素晴らしい三日間の掉尾を飾ることができました。

(安田綾子)



壤晴彦講師に協会理事長より感謝状をお渡ししました。  
3月22日(土)壤晴彦ワークショップ  
会場『座』サロンにて

### 源氏プロジェクトチームからのお知らせ

源氏千年紀「特別講座」が開催された。受講者は19人。

神田紫さんによる講談で「葵」を朗読。講談独特のメリハリは、物語をよりわかりやすく、より面白いものに語るコツを伺いました。

次の矢来能楽堂での講座は、観世喜正さんから、能の歴史、能の役、面、装束などのお話を伺い、謡曲「葵の上」を謡って(?)いよいよ全員能舞台へ。「はい、背筋を伸ばして、腰を落として、まっすぐ前を見て、あごをひいて……」の掛け声を受けながらすり足の練習。ほとんどの人が、能舞台は始めて。なれない所作に終始緊張の面持ちでした。

最終回「香」では、銀座「香十」さんのご協力で、「香楽庵」にて。銀座香十の稲坂社長のお話と落ち着いたしつらえの和室で、聞香を楽しみました。4回の「源氏特別講座」では、和の文化と向き合い、その格調の高さと豊かさを再認識した一日、一日でした。

(源氏プロジェクトチーム)

### 建長寺の能舞台で「秘花」を朗読

6月1日鎌倉建長寺で恒例の巨福能が行われた。今年、第5回公演に招かれ、世阿弥の生涯を描いた瀬戸内寂聴著「秘花」を朗読。世阿弥作品からの、仕舞と能「鶴」と共演。朗読の間に格調高い仕舞が入り、続いて能という構成。緊張したものの、能舞台の朗読はとてもいい気分でした。私は日頃から、伝わる朗読、感動をあたえる朗読をめざしているが、この日、果たして300人の聴衆にどのように届いたであろうか…。

秋の矢来能楽堂公演(10月22日(水)午後7時)の出演募集が始まっています。このチャンスお見逃しなく!あなたも応募してみませんか。

(加藤敬子)

### 「絢爛たる平安絵巻…源氏物語千年紀展」を見て

京都と近辺は、4、5月「源氏物語」千年紀展の花盛り。伝統文化各種の催しで賑わっているが、圧巻は京都文化博物館の「源氏物語千年紀展」。国宝、重文の絵巻や絵詞を始め、平安から江戸にかけての多様な「源氏絵」が絢爛たる王朝絵巻を繰り広げていた。

中でも目を奪われたのが江戸時代「紅葉賀」の屏風絵。金雲と紅葉に囲まれて並び舞う若き光君と頭中将の東帯がリズムカルに翻っている。幕府の御用絵師、狩野養信が家齊の姫のお嫁入り道具に描いたもので、豪華で雅やか。世界に誇れる芸術品だろう。桃山時代の「車争い図屏風」も、住友信託「源氏朗読会」の「六条御息所」であれこれ想像しつつ読んだ場面なので、流麗かつリアルな絵に見入ってしまった。

琵琶湖畔の古木が繁る丘の上、石山寺は紫式部がここに籠もって物語の着想を得たと伝えられる。本堂書院窓の中、湖上の満月を眺める姿で筆を執る実物大の式部人形に、はるか千年昔へと想像をかき立てられたのだった。

(望月鏡子)



## 中国、南開大学訪問記

2008年5月7日成田国際空港から一人、北京へ向かった。行き先は天津にある「南開大学」。キャンパスは広くて建物がそれぞれ独立している。中の移動は自転車とどこでも乗り降りできる一元バス。学部とはいわず、学院という。私が行くのは外国語学院、日本語学科である。3年前にも訪問している。宿舎は大学構内にある。外国の企業からの留学生や外国人講師が滞在しており、ビジネスホテルのちょっと上といったところ。夕方、翌日の公開講座の打ち合わせを担当の先生たち、司会者と食事をしながら行う。長い一日だった。



5月8日 午前に講座の用意。早めに集合してもらった1年生に群読「どんぶらこ」の練習。まずは参加して親しんでもらい流れを作ると、次が進めやすくなる。本番は、体操や発声、次に「どんぶらこ」をした。ことば遊びである。階段教室は1年生だけでなく2年3年4年と先生たちも参加。「セロ弾きのゴーシュ」を教材に。事前学習もお願いしていたので中味をよく理解できたと思う。講座が

終わり多くの学生が私の周りに集まってきた、感激のひと時である。早稲田大学からの留学生がいて名前しか知らなかった、「セロ弾きのゴーシュ」をしっかりと理解できたと、喜んでいて。この日の夜は先生たちが自宅で「餃子」の作り方講習会を開いてくださった。おいしかった。

5月9日は1年生の授業。まず絵本を使って寸劇。皆のりのりで、楽しい時間になった。導入が鍵。中国でも3本の指に入るといふ優秀な学生がいる大学で、日本語を全く話したことの無い学生が1年もたたないうちに会話が出来て、本もよむ。とにかく勉強する。男女とも素直でかわいい。

5月10日 南開大学の教授が経営している日本語学校で授業。学生だけでなくお勤めの人もある。1クラスは20人位。皆、珍しいのか楽しそうで、やりがいがある。この学校ではお昼は手作りの餃子でもてなしてくれた。



5月11日 大学1年2年のスピーチコンテストの審査員をした。皆上手。「これからの中日交流について」というテーマを選んだ学生があった。“自分は高校まで親や周りの大人から日本の話は聞いていたが、過去の戦争の話など良い印象を持っていなかった。しかし今では変った、もっと交流して理解しあいたい。”そんな内容である。日本語を学ぶというチャンスの無い人達は日本を誤解したままなのかなと心配になる。いろいろな形で中日交流をして欲しい。考えさせられた一日だった。

5月12日 3時半発の飛行機だというのに9時半には宿舎をでた。オリンピックの工事で渋滞があるからとのこと。二度目とはいえ外国の大学生との交流には多少不安があったが、終わってみれば大変充実した6日間だった。中日交流に少しは役にたったかな、など考えながら機上の人となる。台風が近づいているとのアナウンスだったが、快適なフライトだった。しかしこのころ四川省では大震災が起こっていたのだ。何万人という多くの方が亡くなり行方不明の方も多、本当に他人事ではない。一日も早い復興を心から願ってやまない。  
(早川とし子)

### かもめ報告



朗読ボランティアグループ「かもめ」は今年4月より懸案の規約を制定、それと同時に今まで4年間務めてくださった有賀さんに代わり、稲本、富永、松島の3人の代表体制で新たなスタートを切りました。ボランティア保険にも全員が加入。協会からの予算も出る事になり今年からは僅かながら交通費を支給する事ができるようになります。

訪問活動は現在、高齢者施設3箇所、児童館、書店で行っています。又毎月の定例会では勉強会を始めました。今まで各自が習得してきた事を集約し、ボランティアの更なる質向上の為に知恵を出し合っています。初めてボランティアする方でもすぐに参加出来るようなマニュアルが出来ればと思っています。新しい施設等からの訪問要請がきていますが、人数的に対処しきれないのが現状。もっと多くの方が「かもめ」活動に参加下さる事を切望しています。又年一回、朗読力向上の為にかもめ朗読会も行っています。皆さん是非ご参加下さい。

(稲本由美子)

## 八重洲朗読会のお知らせ

日時：6月28日（土）16:00～17:30（開場 15:30）  
場所：八重洲ブックセンター本店8階ギャラリー  
JR東京駅八重洲南口／東京メトロ銀座線京橋駅  
電話：03（3281）1811（代）

「愛のめざめ」 犬丸りん作 清瀬明音  
「嘘つき卵」 向田邦子作 松本由美子  
「陰陽師」 夢枕 獯作 土岐志のぶ  
「夢をかなえるゾウ」 水野敬也作 阿部義高・稲本由美子

\*次回は7月29日（火）です



第34回八重洲朗読会(5/24)  
150人のお客様を迎えて  
出演者とスタッフ

### 【声に出す平和への祈りのお知らせ】

毎年、8月15日の「終戦の日」に、港区との共催で区内一般の方からの献読者を募集、平和を祈る朗読会を実施してきました。本年度は、聖歌隊による歌とのコラボレーションを予定しています。

\*日時：8月15日（金）  
\*場所：高輪区民センター

### NPO日本朗読文化協会 平成20年総会報告

2008年5月27日、平成20年総会が成立しました。

今年度から、協会の主立った事業に関して、各担当者が事業計画・予算を発表するなど、より活発で会員一人一人が自主的に参加する総会となりました。（詳しい企画書、資料などお知りになりたい方は、事務局までご連絡下さい。いつでもお送りいたします）

第1号議案 19年度事業報告及び収支決算報告承認

第2号議案 20年度事業計画及び収支予算案

第6回朗読の日・平和への祈り・第3回「朗読コンクール」などの企画案が成立。

第3号議案 理事・監事・顧問改選

その他 定款一部改定手続き不備の訂正

中途入会者初年度年会費の件

4～6月入会は、春会員として20,000円、以下、同様に7月～9月入会は夏会員として15,000円、10～12月入会は秋会員として10,000円、1～3月入会は冬会員として5,000円を初年度年会費とする。

### \*サポーター大募集！

NPO日本朗読文化協会では、協会の活動に賛同してくださる方を広く一般に求めています。朗読に興味のある方、ボランティア活動に関心のある方、どなたでも、年会費3,000円でNPO日本朗読文化協会のサポーターになりませんか？

朗読ニュース毎号配送・「朗読の日」チケットプレゼントなど各種特典付きです。

朗読ニュース初夏号 発行2008年6月9日  
NPO日本朗読文化協会 理事長 城所ひとみ  
〒107-0052 東京都港区赤坂9-1-7-572 TEL:03-3479-4344 FAX:03-3401-2752  
E-mail:npo-rodoku@rodoku.org http://www.rodoku.org/

# NPO 日本朗読文化協会定款要約

## 1. 名称・場所

本会は、特定非営利活動法人 日本朗読文化協会と称し、事務所を東京都港区に置く。

## 2. 目的

本会は、既存の枠にとらわれず自由な発想のもとに、教育・人材育成・エンターテインメント・朗読ライブラリーなどのさまざまなプロジェクトを立ち上げ、多岐にわたる朗読活動を支援し、朗読の活性化と振興を図り、地域社会や福祉、社会教育への貢献を推進することを目的とする。

## 3. 事業

本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

### (1) 朗読指導者の育成と朗読教室を開催する事業

各種朗読教室および朗読ワークショップ・朗読講師派遣等

### (2) 朗読文化の普及発展のために朗読会を開催する事業

「朗読の日」公演・8月15日「声に出す平和への祈り」・「朗読コンクール」・  
「八重洲朗読会」・「かもめ朗読会」・朗読教室発表公演等

### (3) 地域社会や福祉、社会教育への貢献を目的とする事業

朗読ボランティアグループ「かもめ」の活動・地方自治体での公演活動等

### (4) 朗読文化振興に必要な広報および啓蒙活動を行う事業

朗読ライブラリーの創設・朗読ニュースの発行等

### (5) その他、本会が適当と認めた事業

## 4. 会員

本会は、正会員、団体会員、賛助会員で構成される。

(1) 正会員 本会の目的に賛同して入会した個人

(2) 団体会員 本会の目的に賛同して入会した団体

(3) 賛助会員 本会の目的達成を支援し事業に協力願える企業団体、個人

## 5. 会費

本会の年会費は次のとおりとする。

(1) 正会員 20,000円を各年度初めに納める。

(2) 団体会員 100,000円を各年度初めに納める。

(3) 賛助会員 1口100,000円とし申込口数に応じた金額

既に納入された会費その他の拠出金品は返還しない。

## 6. 役員

(1) 理事は3人以上、監事は1人以上とする。

(2) 理事、監事は、正会員の中から総会で選任する。

(3) 役員任期は2年とする。但し再任を妨げない。

## 7. 会議

(1) 会議は総会および理事会とする。総会は正会員をもって、理事会は理事をもって構成する。

(2) 会議は構成員の過半数の出席を必要とし、議事は出席者の過半数の同意で決する。

(3) 総会は毎年1回開催し、理事会は必要に応じて理事長が招集する。

(4) 理事会は、本会の事業を円滑に行うため、運営を運営委員会に委任する。

## 8. 運営委員会

(1) 運営委員会は協会の事業について、企画、実行、管理、報告を行う。

(2) 運営委員は正会員の中から理事長が任命する。

(3) 運営委員の任期は2年とする。但し再任を妨げない。

## 9. 事業年度

本会の事業年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

# 瀬戸内寂聴 訳「源氏物語」



- ◆ 空蝉・夕顔  
KICG56070
- ◆ 明石・松風・薄雲  
KICG56071
- ◆ 若紫(上・下)  
KICG56072
- ◆ 紅葉賀・花宴  
KICG56073
- ◆ 葵(上・下)  
KICG56074
- ◆ 玉鬘(上・下)  
KICG56075



## 源氏物語 上原まり

好評発売中

CD全6タイトル  
定価・各2,000円(税込)

千年前の王朝の世界へ誘います

瀬戸内寂聴訳



- ① 桐壺 ① 末摘花
  - ② 藤壺 ② 朧月夜
  - ③ 空蝉 ③ 六条の御息所
  - ④ 夕顔 ④ 明石
  - ⑤ 若紫 ⑤ 源氏物語の魅力
- (全巻 瀬戸内寂聴)

## 声に響きあう朗読の魅力 源氏物語

好評発売中

KICG-5068~69  
CD2枚組  
定価3,000円(税込)

心と心が響きあう朗読の魅力



## 宮沢賢治の魅力

長岡輝子 宮沢賢治をふるさと君手の語りで朗読!  
(原作) 宮沢賢治 朗読: 長岡輝子 (音楽) 渡辺俊幸  
定価・各2,500円(税込)



雨ニモマケズ  
KICG3103  
雨ニモマケズ  
賢治の語り  
宮沢賢治  
よたの嵐



鹿踊りのほじまり  
KICG3102  
高麗  
賢治の語り  
宮沢賢治  
水仙月の朝日



注文の多い料理店  
KICG3101  
岩手公園  
永秋の朝  
賢治の語り  
なまこ山の朝



月夜のでんしんばしら  
KICG3152  
どなりと山嵐  
月夜のでんしんばしら  
津十公樹林



セロ弾きのゴーシュ  
KICG3151  
セロ弾きのゴーシュ  
賢治の語り  
渡辺俊幸



猫の事務所  
KICG3104  
ちやんちやんちやんち  
丸瀬戸上野原家小童  
賢治の語り  
猫の事務所



宮沢賢治の世界  
KICG323112  
宮沢賢治  
長岡輝子

好評発売中



## 金子みすゞの世界

～朗読の旅～歌の旅～合唱の旅～朗読の旅Ⅱ  
定価・各2,800円(税込)

朗読: 宮崎淑子 / 中井貴基 / 橋ふみ / 謝野美沙子 / 小林綾子  
監修: 矢崎節夫



朗読の旅Ⅱ  
KICG3086  
本と心、空と月、日  
お日入、お月入、お月入  
お月入、お月入、お月入  
お月入、お月入、お月入  
お月入、お月入、お月入



合唱の旅  
KICG3083  
私と小鳥と、私と小鳥と  
私と小鳥と、私と小鳥と  
私と小鳥と、私と小鳥と  
私と小鳥と、私と小鳥と



歌の旅  
KICG3082  
私と小鳥と、私と小鳥と  
私と小鳥と、私と小鳥と  
私と小鳥と、私と小鳥と  
私と小鳥と、私と小鳥と



朗読の旅  
KICG3081  
私と小鳥と、私と小鳥と  
私と小鳥と、私と小鳥と  
私と小鳥と、私と小鳥と  
私と小鳥と、私と小鳥と

好評発売中



金子みすゞの全集  
KICG31411500  
金子みすゞの全集  
金子みすゞの全集  
金子みすゞの全集  
金子みすゞの全集



私と小鳥と  
KICG312819  
私と小鳥と  
私と小鳥と  
私と小鳥と  
私と小鳥と



私と小鳥と  
KICG312819  
私と小鳥と  
私と小鳥と  
私と小鳥と  
私と小鳥と



私と小鳥と  
KICG312819  
私と小鳥と  
私と小鳥と  
私と小鳥と  
私と小鳥と

キングレコードの朗読CDはお近くのレコード店でお求め下さい。又は下記へ直接お申込み下さい。

フリーダイヤル 0120-340-670 インターネット <http://www.kingrecords-eshop.jp> (キングレコード・イー・ショップ)  
FAX 03-3945-9086 ハガキ 〒112-0013 東京都文京区音羽1-2-3 キングレコード(株)内キングダイレクトアクセス行

